

身体的拘束最小化に向けた 当院の方針と取組

当院の方針

当院では、患者さん一人ひとりの権利と尊厳を大切にし、
身体的拘束を行わないことを原則としています。

患者さんの状態や行動の背景を十分に把握し、身体的拘束に頼らない方法を多職種で検討するとともに、患者さんの思いや意向を大切にした医療・ケアの提供に努めます。

身体的拘束最小化のための取組

1

患者さん一人ひとりに応じた医療・ケア

患者さんの状態や行動の背景・原因を把握し、身体的拘束につながる原因をできる限り取り除き、患者さんに応じた医療・ケアを行います。

2

多職種による検討

医師、看護師、リハビリテーションスタッフ等の多職種で、身体的拘束を行わずに対応できる方法や、身体的拘束の解除に向けた検討を行います。

3

身体的拘束に頼らない環境づくり

患者さんが安全に療養できるよう、ケア方法や療養環境を工夫し、身体的拘束に頼らない環境づくりに取り組みます。

4

身体的拘束の早期解除

やむを得ず身体的拘束を行っている場合も、その必要性を継続的に検討し、早期の解除に努めます。

5

職員への教育・研修

患者さんの尊厳を大切にした医療・ケアを実践できるよう、身体的拘束の最小化に関する教育・研修を定期的に行います。